



全員で創り上げた大成功の県大会「生活体験発表大会」

～「高萩市長賞」を受賞！ 高萩高生の「聴く力」と「届ける力」が光った一日～

10月2日(金)、高萩市文化会館において、「定時制通信制生徒生活体験発表大会」が行われ、本校が会場校として運営を担当いたしました。運営に尽力した生徒会の生徒、真剣に発表を受け止めた生徒、先生方がそれぞれの役割を全うすることで、大会を大成功に導くことができました。

今年の7月には全校をあげて校内発表大会を行い、県大会の運営に万全の備えをして臨みました。

(以前の記事→ <https://www.takahagi-h.ibk.ed.jp/wysiwyg/file/download/15/2657>)

今年度の大会には、茨城県内の定時制・通信制で学ぶ高校の代表者 24 名が参加しました。持ち時間は、1人 7 分。自身のこれまでの学生生活を振り返り、困難を乗り越えて前へ歩みを進めていることや新たな決意など、一人一人の思いを言葉に乗せ、表情や身振り手振りを交えての熱い発表でした。

発表大会は、発表者だけで成立するものではありません。本校生が真剣に耳を傾け、発表者の思いをしっかりと聴き止めることで大会を盛り上げ、聴き手の本校生にとっても貴重な学びの機会となりました。

さらに、本校代表の渡辺咲弥樺さん(2年)が、大部市長より「高萩市長賞」を授与されるという栄誉に輝きました。より良い発表を目指し、長期間にわたり、熱心に準備を重ねてきた渡辺さんの姿を見ていたので、見事な入賞を心から嬉しく思います。



受付 誘導



生徒会が舞台袖で進行



聴き手として参加

